「社会を明るくする運動 ～保護司による対話集会～」副校長　土屋　徳子

７月８日（水）、中学２年生を対象に「社会を明るくする運動」の一環として、目黒南中学校区の保護司の皆様を講師にお迎えし、対話集会を実施しました。



集会では、犯罪や非行をしないこと、また、過ちを犯した人が再び同じ過ちを繰り返さないために、私たち一人一人に何ができるのかについて考えました。保護司の方からは、更生を支える活動や地域とのつながりの大切さ、自分の行動に責任をもつことについてお話をいただきました。

中学２年生は 14 歳という年齢を迎えています。日本では、14 歳以上になると刑法上の責任を問われることがあり、自分の行動に責任をもつことの重要性が一層高まります。生徒たちは講話や対話をとおして、「相手を思いやること」「困ったときは一人で悩まず相談すること」「ルールを守ること」の大切さを学びました。また、安全で安心な地域社会をつくるためには、一人一人が周りの人を大切にし、支え合うことが重要であることを改めて考える機会となりました。

今回の学びを今後の生活に生かし、自他を尊重しながら、明るくよりよい社会づくりに貢献できる生徒に成長してほしいと思います。

「道徳授業地区公開講座」　　道徳教育推進教諭　久喜聡子

7月11日（土）に「道徳授業地区公開講座」を実施しました。今年度のテーマは「相互理解・寛容」で、3学年共に「遠足で学んだこと」という教材で授業を行いました。全体意見交換会では、各クラスの代表生徒が授業を通して考えたことを発表しました。成長段階で捉え方や考える視点にも違いがあり、それらを生徒・教員・保護者・地域の方々と共有して、有意義な時間を過ごすことができました。今後も目黒南中学校では豊かな心の育成を目指し、学年教員によるローテーション道徳の実施や指導方法の工夫をしていきます。







「特別支援教育校内研修会」　　担当　特別支援教室　中澤幸彦

８月 31 日、通常学級における特別支援教育をテーマとした校内研修会を実施しました。講師には、オルタナティブスクール HILLOCK 初等中等部学院長の蓑手章吾氏をお招きし、「気になる子、で終わらせない―通常学級での見取り・支援・自己理解のデザイン―」をテーマにご講演いただきました。研修では、支援を必要とする生徒の困り感を見逃さず、その背景や特性を丁寧に捉えることの重要性や、合理的配慮とは何か、その具体的な実践例について学びました。また、本校が推進する自己調整学習については、生徒任せにするのではなく、教師が学習の目的や見通しを示しながら伴走し、生徒が自己理解を深めて主体的に学びを調整できるよう支援することの大切さが示されました。誰一人取り残さない学びの実現に向けて、今後の授業改善や学級経営に生かしていきたいと思います。



９月 行 事 予 定

日	曜	行　事　等
1	火	朝礼
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	安全指導
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	避難訓練（引き渡し訓練）
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	前期期末考査
16	水	前期期末考査
17	木	前期期末考査
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の祝日
23	水	秋分の日
24	木	専門委員会
25	金	生徒会役員選挙
26	土	
27	日	
28	月	生徒会朝礼・区連体壮行会
29	火	目黒区立中学校連合体育大会
30	水	区連体表彰

おめでとう

【令和8年度平和祈念標語】

3C トレンティノ ライレ ゼロン

【令和8年度目黒区バドミントン大会】

（中学生の部）個人戦シングルス

・第1位　　1A 楠本陽真里

・第3位　　1E 篠崎 天晴